

dedication; In Kawagoe Mixed Chorus Group
III. Sequenz "N^o5 Confutatis" in Requiem
Part word of "Voca me cum benedictis"

piano accompaniment
Writer; Yukio Yoshida
Date; Jul 04 2007

今日まで私が聴いてきた”mozart の requiem(KV 626)”はオーケストラ演奏に於けるものでした。しかし、今は違います。今は piano 伴奏による”mozart の requiem(KV 626)”を混声合唱団の一員として、その練習日に歌い聴く事が出来ます。そのなかで私が初めて掴んだ”Golden neatness. or Neatness of gold ingot.”と思えるほどの独断的な印象の譜面 (snippet) 部分を、この文書は述べたものです。

Snippet は Requiem(kv 626) の”III Sequenz N^o5 Confutatis”のなかで Soprano と alto の Tutti で歌われる詩篇”Voca me cum benedictis (私を祝福されたものたちと共に呼びたまえ)”に於ける piano 伴奏に我を忘れて魅かれます。(楽譜 bar 番号 : 7 小節目から)

Andant

Musical score for Soprano, Alto, and Piano, measures 7-11. The tempo is Andant. The key signature is one flat (B-flat major/D minor). The time signature is common time (C). The Soprano and Alto parts are marked *sotto voce*. The lyrics are: Vo-- ca, vo-- ca me, vo-- ca. me cum be-- ne-- di-- ctis.

Respond: --Tener and Bass--Part; omit

Musical score for Respond: --Tener and Bass--Part; omit, measures 11-16. The score is empty for all three staves (Soprano, Alto, Piano).

Musical score for Soprano, Alto, and Piano, measures 17-20. The tempo is Andant. The key signature is one flat (B-flat major/D minor). The time signature is common time (C). The Soprano and Alto parts are marked *sotto voce*. The lyrics are: Vo-- ca, vo-- ca me cum be-- ne-- di-- ctis, cun be-- ne-- di-- ctis, vo--

Musical score for Soprano, Alto, and Piano, measures 21-26. The tempo is Andant. The key signature is one flat (B-flat major/D minor). The time signature is common time (C). The lyrics are: ca me, vo-- ca me, vo-- ca me cum be-- ne-- di-- ctis. vo-- ca me, vo-- ca-- me cum be-- ne-- di-- ctis.

本来この部分はオーケストラの violin section(Mozart の Full Score では violini I のみの staff score に Süssmayr が violini II として同じものを追加して成り立っているとのことです。piano で弾かれた

music を聴いてモーツアルトの心境を 彼が夢に追った世界を を垣間見ていると私は感じてしょうがありません。

モーツアルトが Requiem に於いて刻印した長編詩への、”III Sequenz N°1 Dies iræ ~ N°6 Lacrimosa” の音楽表現は後生の作曲家に「死のモチーフ」部分の music 表現として今日でもヨーロッパ市民社会の中へ影響し続けているのでは?.

. バチカンのシスティーナ礼拝堂の壁画「最後の審判」(ミケランジェロ)の前に立つと聴こえて来るのです、この Dies iræ から始まる死の恐怖と Confutatis に於ける哀願と祈り、. その中で”Voca me cum benedictis (私を祝福されたものたちと共に呼びたまえ)” の soprano と alto の Tutti(sotto voice) と共に piano 伴奏で表現された響きの世界から、救われた者の住む聖者の世界を垣間見えて(感じて)仕方が無いのです。私もそうありたい。否! もし天上への階段が存在するなら天使 (soprano,alto) の”Voca me cum benedictis”の合唱に導かれて階段を上りきり、最上段の扉を開けた世界へと魂の意思で入って行きたい!

音楽用語について 音楽に於ける標語なのですが、Mixed Chorus Group の Conductor は団員へ再三にわたる注意を喚起しております。そこから私が感じ取ったのは、音楽表現に於いて作曲家が使う音楽用語は彼ら母国言語で理解しないと音符表現と一体にならない!

この譜面の”**Andant**”は大方は”のんきに歩くような速さ”の和語訳で文字通り速度標語として(日本では)まかり通っています、常に Conductor が練習で注意を促したのは、”**Andant**”は”**移動する, 前に進む, 真ん中**”等々の意であって、つまり、**動的感觉**で捉えなさい! です。もう一度、譜面に戻って動的感觉”前に進む”等々で音符を追って試してみてください、速度感覚(歩く速さ)では比べられない世界が出現するはずですよ。